



子ども新聞を使い、児童に記事の内容を説明する道関校長(右端)＝26日、勝山市荒土小

児童紙芝居で記事理解

勝山・荒土小 校長が用語など解説

みんなで読もう

児童に新聞を読むきっかけにしてもらおうと勝山市荒



土小で26日子ども新聞を活用し、1年生に記事の用語や地名などを分かりやすく解説

この日は1年生20人を対象に道関校長が福井新聞「子どもタイムズ」から企画

「生きもの大好き」の記事を紙芝居の舞台に入れて解説した。

する取り組みが行われた。教育に新聞を取り入れるNIE活動の一つ。道関直哉校長が今年から主に朝の読み聞かせの時間に「新聞紙芝居」と銘打ち、各学年で新聞記事の説明を10回ほど行ってきた。用語の意味や地名の位置などを具体的に説明してイメージしやすくすることで新聞に興味を持ってもらい、将来的な思考力や表現力の向上にもつなげたいと考えて。

東太平洋のガラパゴス諸島に生息するガラパゴスリクイグアナを、静岡県の動物園で見ることができるとの記事について生息地や動物園の場所などを一つ一つ丁寧に説明。大きなスライド写真や地図も使って紹介すると、児童は「えー」「すごい」と何度も驚きながら聞いていた。

川端悠斗君(1年)は「分かりやすく楽しかった。新聞を読んでみたいと思った」と話していた。(竹内史幸)